

第8回東北水防技術競技大会において 本宮市消防団が最優秀賞に輝く

平成26年5月25日（日）、宮城県名取川で開かれた第8回東北水防協議大会に本宮市消防団が福島県代表として出場し、最優秀賞に輝きました。

東北各県から代表が出場し、「月の輪工法」、「シート張り工法」の2工法において、作業手順や作業時間、出来栄を競い合いました。



月の輪工



シート張り工



本宮市消防団



表彰式

宮城で東北水防技術競技大会

本宮市消防団 最優秀

2競技で評価 県代表初の快挙

本宮市消防団は、宮城県名取市で開催された本宮市・阿武隈川下流域水防演習の東北水防技術競技大会で最優秀賞を受賞した。本県代表の最優秀賞受賞は2007年(平成19)年からの出場以来、初めての快挙。同消防団の団分長修団長らが26日、市役所を訪れ、高松義行市長に受賞を報告した。

大会は26日に行われ、一級河川がある東北6県の各自治体の消防団が出場。水の流れて堤防が削り取られないよう、防水シートを張って堤防を守るシート張り工法と、水漏れを防ぐ月の輪工法の2競技で出来栄や競技中の団員の規律などを競った。同消防団は、団員の高い技術力と素早い行動などが評価された。

同消防団は4月から、県の指導で計4回の訓練を実施。大会では、宮野光弘船部部長が小隊長となり、団員20人が団結して競技に取り組んだ。団分長は「消防団の水防技術を評価してもらえた。練習の成果を発揮できた」と胸を張った。

高松市長に最優秀賞受賞を報告した団分長(中央)と曹長(右)

H26. 5. 27福島民友

本宮市消防団 最優秀

東北水防技術競技 堤防補強に力発揮

本宮市消防団は、宮城県名取市で開催された本宮市・阿武隈川下流域水防演習の東北水防技術競技大会で最優秀賞を受賞した。本県代表の最優秀賞受賞は2007年(平成19)年からの出場以来、初めての快挙。同消防団の団分長修団長らが26日、市役所を訪れ、高松義行市長に受賞を報告した。

大会は水防団の水防技術と意識向上を図るとともに、新たな人材確保を目的に

本宮市消防団は市内の全十四分団から選抜された団員二十人と補欠四人でチームを編成し、大会に臨んだ。

堤防周辺に土のうを積み上げて決壊を防ぐ月の輪工と、堤防の内側にシートをかぶせ、土砂が削られるのを防ぐシート張り工の二種目で作業の正確性や速さを競い合い、東北六県の水防技術指導員らが審査した。

本宮市消防団は市内の全十四分団から選抜された団員二十人と補欠四人でチームを編成し、大会に臨んだ。

本宮市消防団は、宮城県名取市で開催された本宮市・阿武隈川下流域水防演習の東北水防技術競技大会で最優秀賞を受賞した。本県代表の最優秀賞受賞は2007年(平成19)年からの出場以来、初めての快挙。同消防団の団分長修団長らが26日、市役所を訪れ、高松義行市長に受賞を報告した。

本宮市消防団は、宮城県名取市で開催された本宮市・阿武隈川下流域水防演習の東北水防技術競技大会で最優秀賞を受賞した。本県代表の最優秀賞受賞は2007年(平成19)年からの出場以来、初めての快挙。同消防団の団分長修団長らが26日、市役所を訪れ、高松義行市長に受賞を報告した。

本宮市消防団は、宮城県名取市で開催された本宮市・阿武隈川下流域水防演習の東北水防技術競技大会で最優秀賞を受賞した。本県代表の最優秀賞受賞は2007年(平成19)年からの出場以来、初めての快挙。同消防団の団分長修団長らが26日、市役所を訪れ、高松義行市長に受賞を報告した。

H26. 5. 27福島民報